

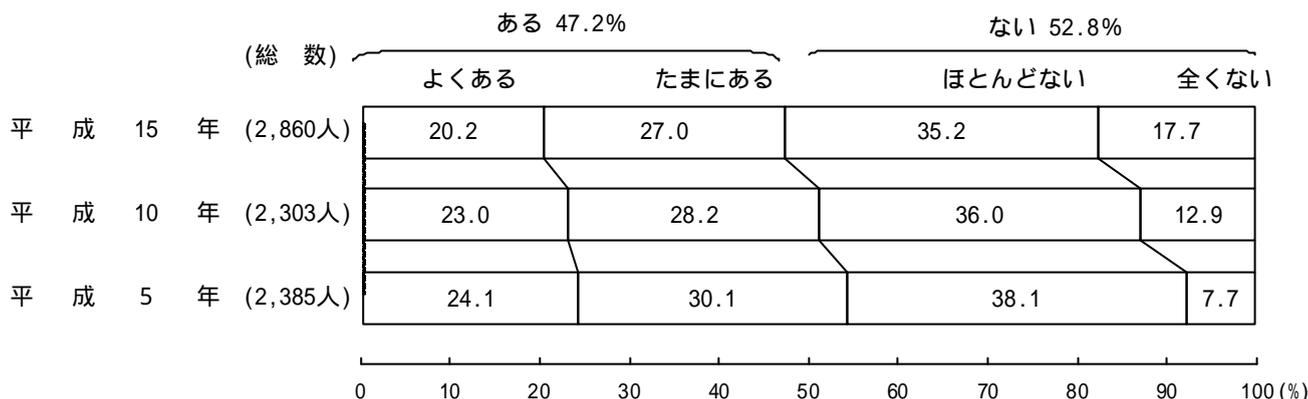
4 世代間交流についての実態と意識に関する事項

(1) 若い世代との交流の機会の有無 (Q22)

「ふだんの生活で、家族以外に若い世代との交流の機会はあるか」についてみると、「よくある」20.2%、「たまにある」27.0%となっており、両方を合わせた『ある』が47.2%となっている。一方、「ほとんどない」35.2%と「全くない」17.7%を合わせた『ない』は52.8%となっている。

前2回の調査と比較すると、若い世代との交流が『ある』は減少傾向となっている。一方、「全くない」は平成5年調査より10.0ポイント、前回調査(平成10年)より4.8ポイント増加している。

図22 若い世代との交流の機会の有無 (Q22)



年齢階級別にみると、若い世代との交流が『ない』は年齢が高いほど割合が高く、「60～64歳」では42.6%となっているが、「80歳以上」では64.8%となっている。

同居形態別にみると、若い世代との交流の機会が『ない』は「単身世帯」で57.7%と割合が高くなっている。

健康状態別にみると、若い世代との交流の機会が『ない』は健康状態が良くないほど割合が高く、「良い」では39.9%となっているが、「良くない」では89.3%と9割弱となっている。

外出の頻度別にみると、『ある』は「ほとんど毎日」(52.1%)、「週に4～5日」(51.5%)で割合が高く、『ない』は外出の頻度が低いほど割合が高く、「月に2～3日以下」では78.0%となっている。

近所づきあいの程度別にみると、『ある』は「親しくつきあっている」(54.7%)で、『ない』は「付き合いはほとんどしていない」(79.9%)で割合が高くなっている。

表 22 若い世代との交流の機会の有無 (Q22)

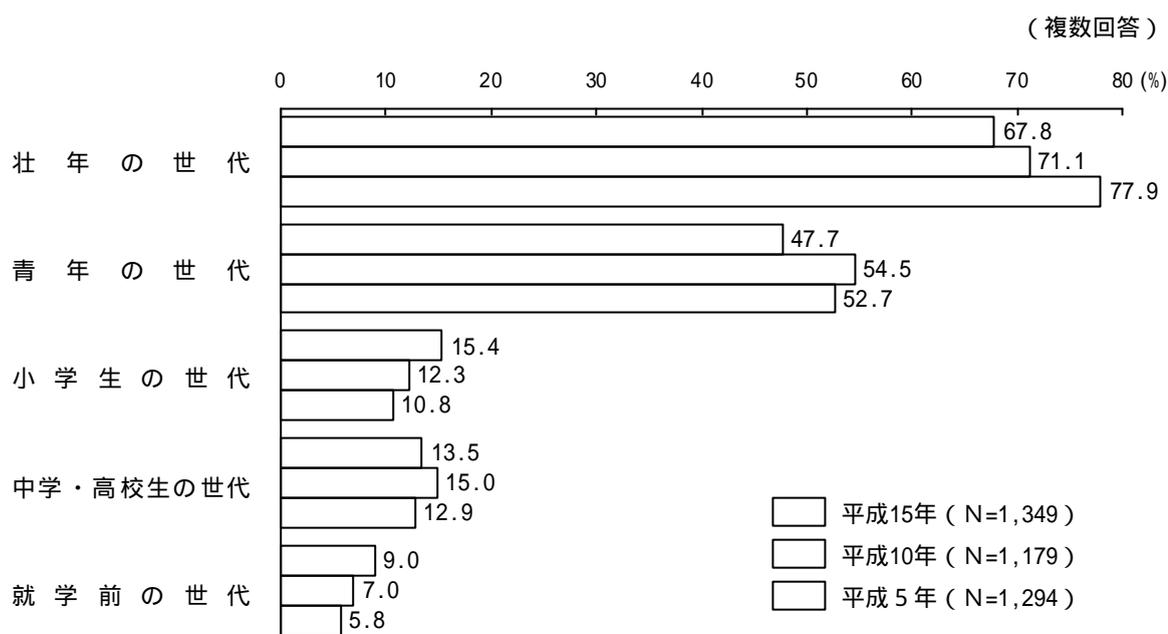
	総 数	あ る (小計)			な い (小計)		
		よ く あ る	た ま に あ る	ほ と ん ど な い	全 く な い		
	人	%	%	%	%	%	%
平成 5 年	2,385	54.2	24.1	30.1	45.8	38.1	7.7
平成 10 年	2,303	51.2	23.0	28.2	48.8	36.0	12.9
総数	2,860	47.2	20.2	27.0	52.8	35.2	17.7
〔性〕							
男	1,251	48.4	20.9	27.4	51.6	34.4	17.3
女	1,609	46.2	19.6	26.7	53.8	35.8	18.0
〔年齢〕							
60 ~ 64 歳	693	57.4	27.0	30.4	42.6	33.6	8.9
65 ~ 69 歳	692	51.4	23.6	27.9	48.6	35.7	12.9
70 ~ 74 歳	650	45.1	18.2	26.9	54.9	35.7	19.2
75 ~ 79 歳	490	37.6	13.9	23.7	62.4	38.4	24.1
80 歳以上	335	35.2	12.2	23.0	64.8	31.6	33.1
(うち 85 歳以上)	101	28.7	5.9	22.8	71.3	35.6	35.6
〔同居形態〕							
単身世帯	388	42.3	19.2	23.1	57.7	32.2	25.4
夫婦二人世帯	1,058	48.1	20.0	28.1	51.9	36.9	15.0
本人と子の世帯	644	46.1	19.4	26.7	53.9	36.3	17.5
本人と子と孫の世帯	596	46.6	20.3	26.3	53.4	35.7	17.6
その他	221	54.3	24.4	29.9	45.7	27.1	18.6
〔健康状態〕							
良い (小計)	1,523	55.9	26.7	29.3	44.1	33.3	10.8
良い	802	60.1	32.7	27.4	39.9	31.2	8.7
まあ良い	721	51.3	20.0	31.3	48.7	35.6	13.0
普通	730	46.0	15.6	30.4	54.0	34.7	19.3
良くない (小計)	607	26.5	9.4	17.1	73.5	40.5	32.9
あまり良くない	504	29.8	10.7	19.0	70.2	41.3	29.0
良くない	103	10.7	2.9	7.8	89.3	36.9	52.4
〔Q2 外出の頻度〕							
ほとんど毎日	1,460	52.1	24.5	27.6	47.9	34.6	13.3
週に 4 ~ 5 日	470	51.5	21.3	30.2	48.5	35.3	13.2
週に 2 ~ 3 日	590	43.2	14.4	28.8	56.8	35.8	21.0
週に 1 日程度	181	30.9	12.7	18.2	69.1	37.6	31.5
月に 2 ~ 3 日以下	159	22.0	6.9	15.1	78.0	35.2	42.8
〔Q3 近所づきあいの程度〕							
親しくつきあっている	1,487	54.7	24.7	29.9	45.3	33.2	12.2
あいさつをする程度	1,169	42.3	16.8	25.6	57.7	38.2	19.5
付き合いはほとんどしていない	204	20.1	6.4	13.7	79.9	32.8	47.1

(2) 交流の相手 (Q22 - SQ)

ふだんの生活で、家族以外に若い世代との交流の機会が「よくある」、「たまにある」と答えた人について「交流の相手」をみると、「壮年の世代」が67.8%と最も高く、以下、「青年の世代」47.7%、「小学生の世代」15.4%、「中学・高校生の世代」13.5%、「就学前の世代」9.0%の順となっている。

前回調査(平成10年)と比較すると、「青年の世代」は6.8ポイント減少し、「小学生の世代」は3.1ポイント増加している。

図 22 - 1 交流の相手 (Q22SQ)



性別にみると、「青年の世代」(男性 52.2%、女性 44.1%)は男性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「壮年の世代」は年齢が高いほど割合が高くなっている。「青年の世代」は「60～64歳」で60.3%と6割を超え高くなっている。

家事や仕事以外での過ごし方別にみると、「青年の世代」は「家族とのだんらん」(53.1%)、「孫と遊ぶ」(54.7%)、「ドライブ」(55.4%)で、「小学生の世代」は「孫と遊ぶ」(21.5%)、「学習活動」(27.8%)、「地域や社会のための活動」(27.6%)で、割合が高くなっている。

表 22 - 1 交流の相手 (Q22 - S Q)

(複数回答)

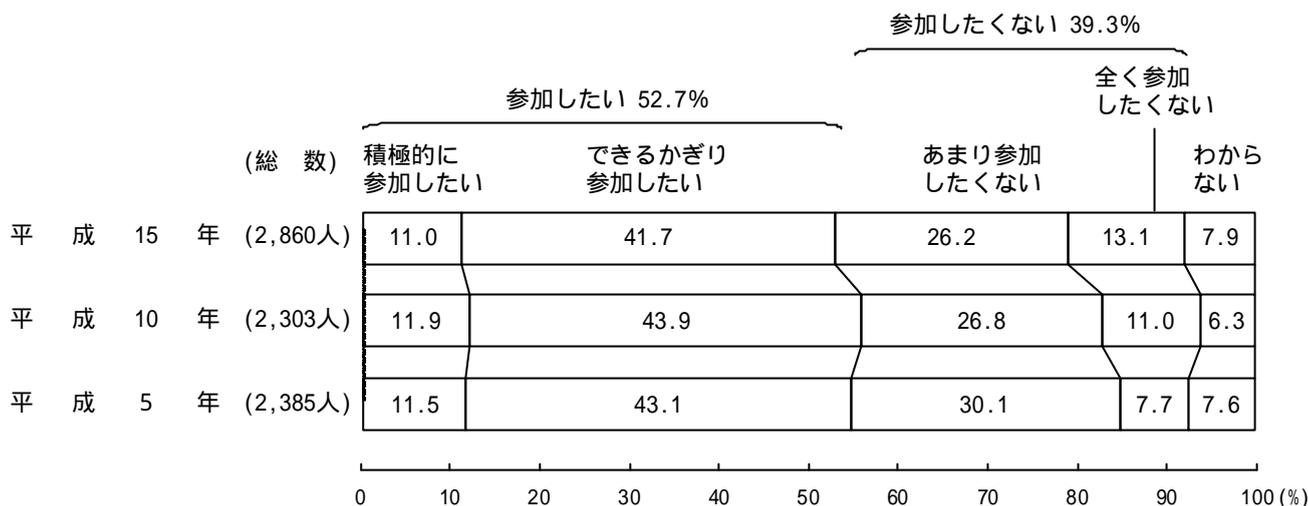
	該 当 者 数	就 学 前 の 世 代	小 学 生 の 世 代	中 学 ・ 高 校 生 の 世 代	青 年 の 世 代	壮 年 の 世 代	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%
平成 5 年	1,294	5.8	10.8	12.9	52.7	77.9	160.1
平成 10 年	1,179	7.0	12.3	15.0	54.5	71.1	159.8
総 数	1,349	9.0	15.4	13.5	47.7	67.8	153.4
〔 性 〕							
男 性	605	8.9	16.0	14.5	52.2	66.6	158.3
女 性	744	9.1	14.9	12.6	44.1	68.7	149.5
〔 年 齢 〕							
60 ~ 64 歳	398	9.0	14.8	13.3	60.3	60.8	158.3
65 ~ 69 歳	356	9.3	14.6	12.6	45.8	68.0	150.3
70 ~ 74 歳	293	7.5	14.0	14.7	43.0	70.0	149.1
75 ~ 79 歳	184	9.8	20.7	14.7	38.0	74.5	157.6
80 歳 以 上	118	11.0	15.3	11.9	38.1	74.6	150.8
(うち 85 歳 以 上)	29	10.3	13.8	6.9	34.5	79.3	144.8
〔 Q6 家事や仕事以外での過ごし方 〕							
テ レ ビ 、 ラ ジ オ	1,095	8.7	14.5	13.1	47.7	67.5	151.4
新 聞 、 雑 誌 な ど	840	8.8	15.1	14.6	49.4	69.0	157.0
家 族 と の だ ん ら ん	542	9.8	16.4	14.8	53.1	67.2	161.3
孫 と 遊 ぶ	274	16.1	21.5	14.6	54.7	60.6	167.5
仲 間 と 集 ま っ た り 、	511	10.2	19.0	14.5	49.3	68.1	161.1
お し ゃ べ り を す る	675	9.3	16.4	14.1	47.3	68.7	155.9
趣 味 ・ 娯 楽	402	9.7	16.2	13.7	46.8	70.9	157.2
軽 い 運 動 や ス ポ ー ツ	288	10.4	15.6	15.3	52.1	69.4	162.8
日 帰 り の 行 楽	213	13.6	15.5	15.5	55.4	64.3	164.3
(ハイ キ ン グ 、 公 園 な ど)	399	11.5	17.5	15.5	48.6	66.7	159.9
ド ラ イ ブ	90	12.2	27.8	21.1	50.0	70.0	181.1
飲 食 ・ シ ョ ッ ピ ン グ	87	9.2	10.3	11.5	47.1	67.8	146.0
学 習 活 動	243	10.7	27.6	16.9	49.8	70.8	175.7
イ ン タ ー ネ ッ ト ・ メ ー ル	107	11.2	18.7	15.0	50.5	68.2	163.6
地 域 や 社 会 の た め の 活 動	39	10.3	10.3	5.1	43.6	82.1	151.3
何 も し な い で の ん び り す る							
そ の 他							

注1) Q22で、若い世代との交流の機会があると答えた人が対象。

(3) 若い世代との交流への参加意向 (Q23)

「若い世代との交流の機会があった場合、どうするか」についてみると、「積極的に参加したい」が11.0%、「できるかぎり参加したい」は41.7%となっており、両方を合わせた『参加したい』が52.7%となっている。一方、「あまり参加したくない」26.2%と「全く参加したくない」13.1%を合わせた『参加したくない』が39.3%となっている。なお、「わからない」は7.9%となっている。

図 23 若い世代との交流への参加意向 (Q23)



性別にみると、『参加したい』(男性 57.1%、女性 49.3%)は男性の割合が高くなっている。
 年齢階級別にみると、『参加したい』は年齢が低いほど割合が高くなっている。
 同居形態別にみると、『参加したくない』は「単身世帯」52.1%と割合が高くなっている。
 健康状態別にみると、『参加したい』は健康状態が良いほど割合が高く、「良い」(68.5%)と「良くない」(18.4%)では50.1ポイントの差がみられる。
 経済的な暮らし向き別にみると、『参加したい』は経済的にゆとりがあるほど割合が高く、「家計が苦しく、非常に心配である」では38.5%であるが、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」では62.3%となっている。
 外出の頻度別にみると、『参加したい』は外出するのが「ほとんど毎日」(56.3%)、「週に4～5日」(58.1%)で、『参加したくない』は「週に1日程度」(54.7%)、「月に2～3日以下」(57.2%)で、割合が高くなっている。

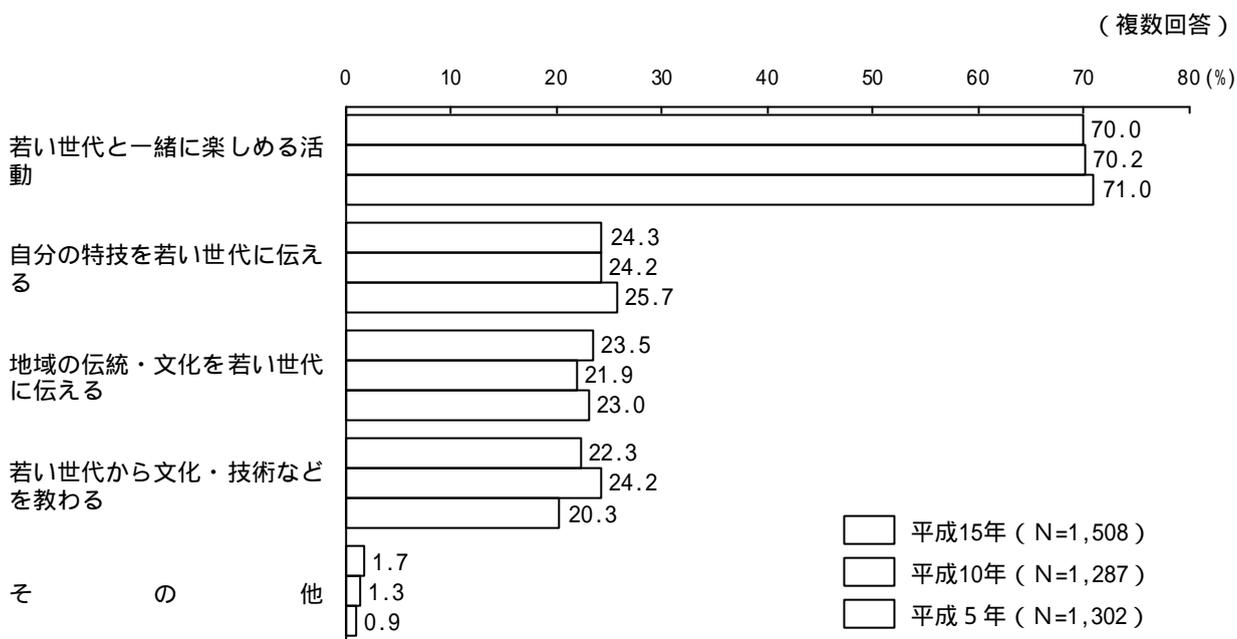
表 23 若い世代との交流への参加意向（Q23）

	総 数	参加したい（小計）			参加したくない（小計）			わ か ら な い
		積 極 的 に 参 加 し た い	た で い き る か ぎ り 参 加 し た い	参 加 し た く な い	い あ ま り 参 加 し た く な い	全 く 参 加 し た く な い		
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成5年	2,385	54.6	11.5	43.1	37.8	30.1	7.7	7.6
平成10年	2,303	55.9	11.9	43.9	37.9	26.8	11.0	6.3
総数	2,860	52.7	11.0	41.7	39.3	26.2	13.1	7.9
〔性〕								
男性	1,251	57.1	12.8	44.3	36.4	24.7	11.7	6.6
女性	1,609	49.3	9.6	39.7	41.6	27.4	14.2	9.0
〔年齢〕								
60～64歳	693	64.4	12.8	51.5	29.6	22.1	7.5	6.1
65～69歳	692	60.3	12.3	48.0	32.9	24.1	8.8	6.8
70～74歳	650	47.4	10.6	36.8	44.8	30.6	14.2	7.8
75～79歳	490	44.5	9.6	34.9	45.3	27.3	18.0	10.2
80歳以上	335	35.5	7.5	28.1	53.4	29.0	24.5	11.0
（うち85歳以上）	101	30.7	5.0	25.7	57.4	28.7	28.7	11.9
〔同居形態〕								
単身世帯	338	42.0	6.8	35.2	52.1	29.6	22.5	5.9
夫婦二人世帯	1,058	54.8	10.5	44.3	38.5	26.0	12.5	6.7
本人と子の世帯	644	53.0	12.0	41.0	38.7	27.8	10.9	8.4
本人と子と孫の世帯	596	51.0	11.6	39.4	39.3	25.7	13.6	9.7
その他	221	62.4	15.4	47.1	26.7	19.5	7.2	10.9
〔健康状態〕								
良い（小計）	1,523	62.4	15.2	47.2	32.3	24.3	8.0	5.3
良い	802	68.5	19.1	49.4	26.8	19.7	7.1	4.7
まあ良い	721	55.6	10.8	44.8	38.4	29.4	9.0	6.0
普通	730	48.4	7.1	41.2	40.4	27.5	12.9	11.2
良くない（小計）	607	33.8	5.3	28.5	55.7	29.5	26.2	10.5
あまり良くない	504	36.9	6.2	30.8	54.0	30.8	23.2	9.1
良くない	103	18.4	1.0	17.5	64.1	23.3	40.8	17.5
〔経済的な暮らし向き〕								
心配ない（小計）	2,253	55.3	12.3	43.1	37.6	26.4	11.2	7.0
ゆとりがあり心配ない	539	62.3	16.5	45.8	30.2	19.9	10.4	7.4
ゆとりはないが心配ない	1,714	53.2	11.0	42.2	40.0	28.5	11.5	6.9
心配（小計）	560	44.6	6.8	37.9	45.7	26.3	19.5	9.6
ゆとりがなく多少心配	438	46.3	6.8	39.5	45.4	26.9	18.5	8.2
家計が苦しく非常に心配	122	38.5	6.6	32.0	46.7	23.8	23.0	14.8
わからない	47	23.4	-	23.4	44.7	17.0	27.7	31.9
〔Q2外出の頻度〕								
ほとんど毎日	1,460	56.3	14.2	42.1	36.8	26.8	10.1	6.8
週に4～5日	470	58.1	9.8	48.3	34.9	23.6	11.3	7.0
週に2～3日	590	50.8	8.0	42.9	39.5	25.1	14.4	9.7
週に1日程度	181	36.5	6.1	30.4	54.7	34.8	19.9	8.8
月に2～3日以下	159	29.6	2.5	27.0	57.2	23.3	34.0	13.2

(4) 参加した若い世代との交流の内容 (Q23 - SQ1)

若い世代との交流の機会があった場合に、「積極的に参加したい」、「できるかぎり参加したい」と答えた人について、「参加したいと思われる若い世代との交流は、どのようなものか」をみると「若い世代と一緒に楽しめる活動」が70.0%と最も高く、以下、「自分の特技を若い世代に伝える」24.3%、「地域の伝統・文化を若い世代に伝える」23.5%、「若い世代から文化・技術などを教わる」22.3%等の順となっている。

図 23 - 1 参加した若い世代との交流の内容 (Q23SQ1)



性別にみると、「自分の特技を若い世代に伝える」(男性31.2%、女性18.1%)、「地域の伝統・文化を若い世代に伝える」(男性31.2%、女性16.5%)は男性の割合が、「若い世代と一緒に楽しめる活動」(男性64.0%、女性75.4%)、「若い世代から文化・技術などを教わる」(男性20.0%、女性24.4%)は女性の割合が高くなっている。

健康状態別にみると、「自分の特技を若い世代に伝える」は、健康状態が「良い」(29.1%)で割合が高くなっており、「良くない」(10.5%)とでは18.6ポイントの差がみられる。

仕事の有無別にみると、「自分の特技を若い世代に伝える」(30.1%)、「地域の伝統・文化を若い世代に伝える」(27.3%)は現在収入のある仕事を「している」で割合が高くなっている。

現在の職業別にみると、「自分の特技を若い世代に伝える」は「自営業主(商工サービス業・自由業(家族従業者を含む)など」(32.0%)、「会社などの役員」(45.2%)で、「地域の伝統・文化を若い世代に伝える」は「農林漁業(家族従業者を含む)」(33.0%)、「会社などの役員」(35.5%)で割合が高くなっている。

表 23 - 1 参加した若い世代との交流の内容 (Q23 - S Q 1)

(複数回答)

	該 当 者 数	自 分 の 特 技 を 若 い 世 代 に 伝 え る	地 域 の 伝 統 ・ 文 化 を 若 い 世 代 に 伝 え る	若 い 世 代 か ら 文 化 ・ 技 術 な ど を 教 わ る	若 い 世 代 と 一 緒 に 楽 し め る 活 動	そ の 他	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%
平成 5 年	1,302	25.7	23.0	20.3	71.0	0.9	140.9
平成 10 年	1,287	24.2	21.9	24.2	70.2	1.3	141.8
総 数	1,508	24.3	23.5	22.3	70.0	1.7	141.8
〔 性 〕							
男 性	714	31.2	31.2	20.0	64.0	1.1	147.6
女 性	794	18.1	16.5	24.4	75.4	2.1	136.6
〔 年 齢 〕							
60 ~ 64 歳	446	22.6	22.6	22.6	73.1	1.8	142.8
65 ~ 69 歳	417	25.9	21.8	23.3	71.5	0.5	142.9
70 ~ 74 歳	308	25.3	24.7	22.4	69.2	1.6	143.2
75 ~ 79 歳	218	24.8	27.5	23.4	63.8	3.2	142.7
80 歳 以 上	119	21.8	21.8	16.0	67.2	2.5	129.4
(うち 85 歳 以 上)	31	35.5	22.6	16.1	64.5	6.5	145.2
〔 健 康 状 態 〕							
良 い (小 計)	950	28.0	24.5	21.9	69.3	1.4	145.1
良 い	549	29.1	26.2	22.6	68.3	0.7	147.0
ま あ 良 い	401	26.4	22.2	20.9	70.6	2.2	142.4
普 通	353	17.6	21.5	24.1	70.5	2.3	136.0
良 くない (小 計)	205	19.0	22.0	21.5	72.7	2.0	137.1
あ ま り 良 くない	186	19.9	21.5	22.0	72.0	2.2	137.6
良 くない	19	10.5	26.3	15.8	78.9	-	131.6
〔 仕 事 の 有 無 〕							
し て い る	579	30.1	27.3	23.3	67.4	1.6	149.6
仕 事 は し て い ない	929	20.8	21.1	21.7	71.7	1.7	137.0
〔 現 在 の 職 業 〕							
農 林 漁 業 (家 族 従 業 者 を 含 む)	115	27.0	33.0	24.3	65.2	1.7	151.3
自 営 業 主 (商 工 サ ー ビ ス 業 ・ 自 由 業 (家 族 従 業 者 を 含 む) な ど)	200	32.0	26.0	20.0	64.0	2.0	144.0
雇 わ れ て い る 人 (常 勤)	89	25.8	29.2	21.3	69.7	1.1	147.2
雇 わ れ て い る 人 (臨 時 ・ パ ー ト)	119	27.7	20.2	26.1	73.9	0.8	148.7
会 社 な ど の 役 員	31	45.2	35.5	32.3	64.5	-	177.4
そ の 他 の 仕 事	25	36.0	28.0	28.0	68.0	4.0	164.0

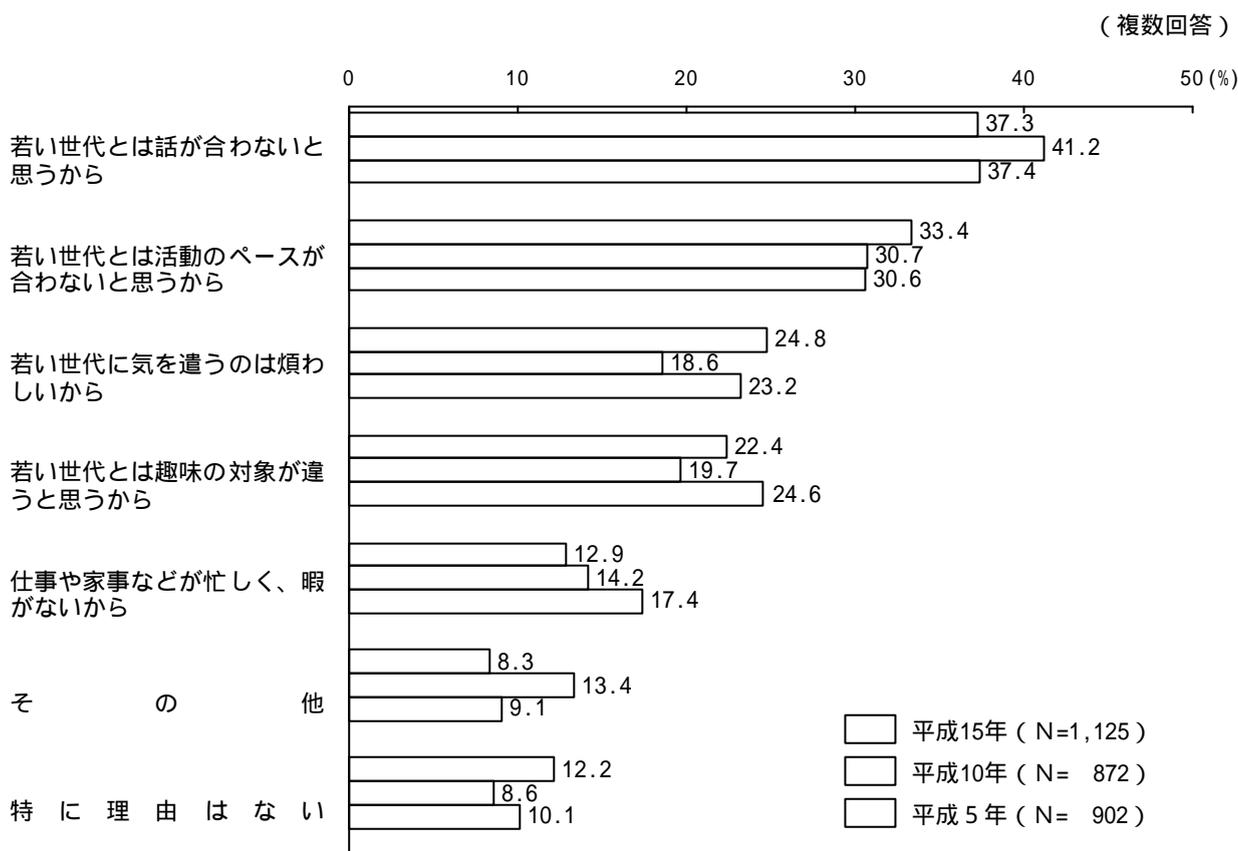
注) Q23で「積極的に参加したい」、「できるかぎり参加したい」と答えた者が対象。

(5) 若い世代との交流に参加したくない理由 (Q23 - S Q 2)

若い世代との交流の機会があった場合に、「あまり参加したくない」、「全く参加したくない」と答えた人について、「参加したくない理由は何か」をみると、「若い世代とは話が合わないと思うから」が 37.3%、「若い世代とは活動のペースが合わないと思うから」が 33.4%と高く、以下、「若い世代に気を遣うのは煩わしいから」24.8%、「若い世代とは趣味の対象が違うと思うから」22.4%、「仕事や家事などが忙しく、暇がないから」12.9%等の順となっている。なお、「特に理由はない」は 12.2%となっている。

前 2 回の調査と比較すると、「仕事や家事などが忙しく、暇がないから」は減少傾向となっている。また、前回調査(平成 10 年)と比較すると、「若い世代に気を遣うのは煩わしいから」が 6.2 ポイント増加している。

図 23 - 2 若い世代との交流に参加したくない理由 (Q23 S Q 2)



年齢階級別にみると、「仕事や家事などが忙しく、暇がないから」は年齢が低いほど割合が高くなっている。「若い世代に気を遣うのは煩わしいから」は 60~64 歳で 29.8%と割合が高くなっている。

都市規模別にみると、「若い世代とは活動のペースが合わないと思うから」(42.9%)、「若い世代に気を遣うのは煩わしいから」(31.9%)は「大都市」で割合が高くなっている。

健康状態別にみると、「仕事や家事などが忙しく、暇がないから」は健康状態が良いほど割合が高くなっている。また、「若い世代とは趣味の対象が違うと思うから」は『良い』(25.6%)で割合が高くなっており、『良くない』(16.3%)とでは 9.3 ポイントの差がみられる。

若い世代との交流の機会の有無についてみると、「仕事や家事などが忙しく、暇がないから」は交流の機会が『ある』(18.9%)で、「若い世代とは話が合わないと思うから」は『ない』(40.2%)で割合が高くなっている。

表 23 - 2 若い世代との交流に参加したくない理由 (Q23 - S Q 2)

(複数回答)

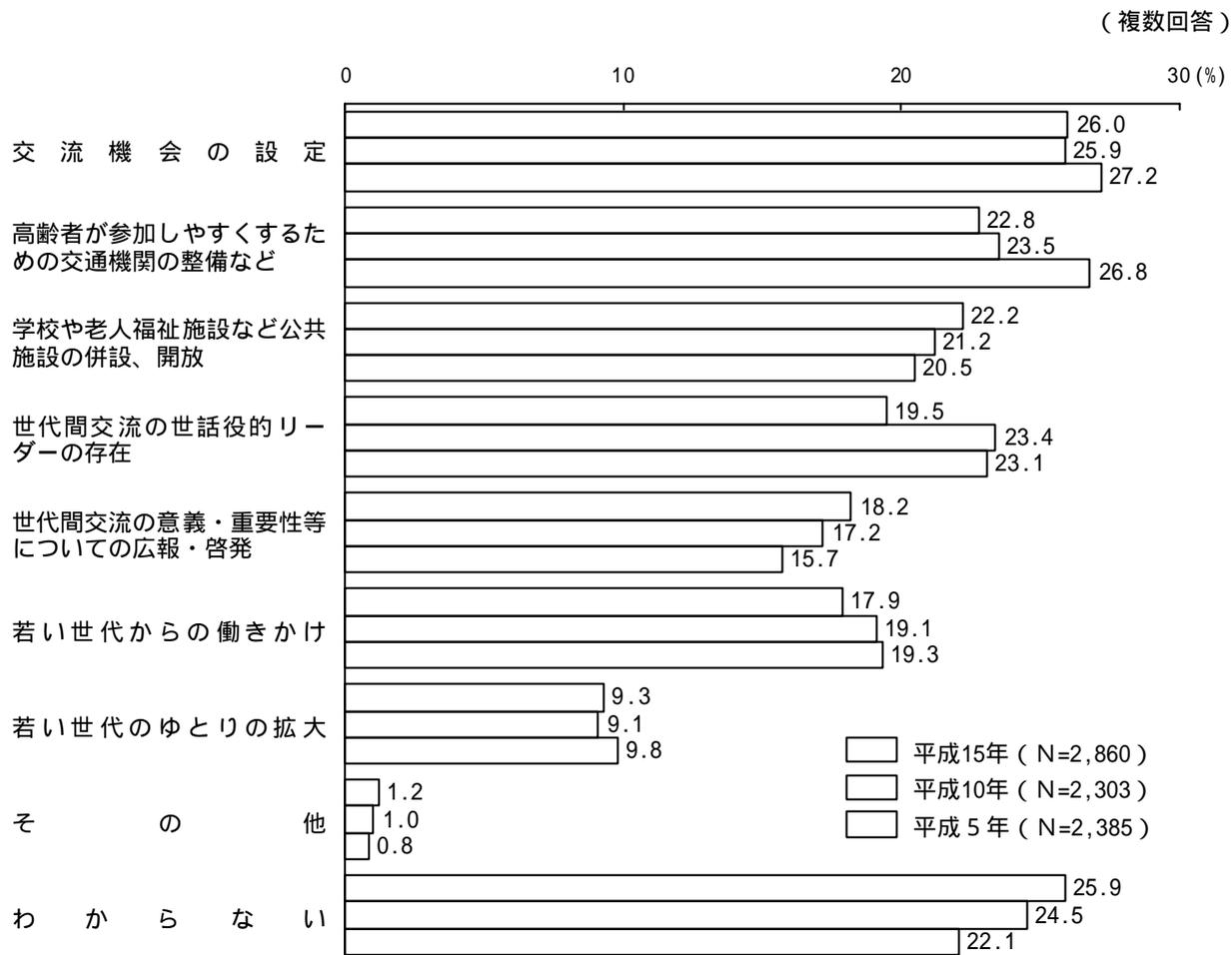
	該 当 者 数	く、 仕事 や家 事な どが 忙し い 暇が ない から	う、 若い 世代 とは 活 動の 思 い が 合 わ ない 思 い	な い と 思 う か ら	は 若 い 世 代 と は 話 が 合 わ ない 思 い か ら	象 が 違 う と 思 う か ら	そ の 他	特 に 理 由 は な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 5 年	902	17.4	30.6	37.4	23.2	24.6	9.1	10.1	152.3
平成 10 年	872	14.2	30.7	41.2	18.6	19.7	13.4	8.6	146.4
総数	1,125	12.9	33.4	37.3	24.8	22.4	8.3	12.2	151.3
[性]									
男	455	10.1	35.6	36.9	23.3	23.1	8.4	12.3	149.7
女	670	14.8	31.9	37.6	25.8	21.9	8.2	12.1	152.4
[年 齢]									
60 ~ 64 歳	205	22.4	31.7	36.6	29.8	22.0	3.4	10.7	156.6
65 ~ 69 歳	228	17.5	38.6	39.5	22.4	25.9	6.1	7.9	157.9
70 ~ 74 歳	291	11.7	31.6	38.5	27.8	23.4	5.8	14.4	153.3
75 ~ 79 歳	222	8.1	38.3	36.9	21.6	18.5	8.1	14.0	145.5
80 歳 以 上	179	3.9	25.7	34.1	21.2	21.8	20.7	13.4	140.8
(うち 85 歳 以 上)	58	1.7	19.0	27.6	20.7	20.7	24.1	22.4	136.2
[都 市 規 模]									
大 都 市	226	11.1	42.9	39.8	31.9	26.5	6.2	11.5	169.9
中 都 市	381	13.4	33.3	37.0	23.9	23.4	7.6	8.9	147.5
小 都 市	238	12.2	26.5	37.4	21.0	21.0	10.9	16.0	145.0
町 村	280	14.3	31.8	35.7	23.6	18.9	8.6	13.9	146.8
[健 康 状 態]									
良 い (小 計)	492	17.1	35.8	38.0	25.6	25.6	4.7	8.9	155.7
良 い	215	19.1	33.5	34.0	26.5	22.3	4.2	9.3	148.8
ま あ 良 い	277	15.5	37.5	41.2	24.9	28.2	5.1	8.7	161.0
普 通	295	11.5	33.6	39.0	26.1	24.1	5.4	14.2	153.9
良 く な い (小 計)	338	8.0	29.9	34.9	22.5	16.3	16.0	15.1	142.6
あ ま り 良 く な い	272	8.5	29.8	35.3	23.5	18.0	13.2	15.8	144.1
良 く な い	66	6.1	30.3	33.3	18.2	9.1	27.3	12.1	136.4
[Q22若い世代との交流の機会の有無]									
あ る (小 計)	243	18.9	35.0	26.7	23.5	25.9	7.8	8.6	146.5
よ く あ る	63	20.6	30.2	28.6	23.8	34.9	9.5	7.9	155.6
た ま に あ る	180	18.3	36.7	26.1	23.3	22.8	7.2	8.9	143.3
な い (小 計)	882	11.2	33.0	40.2	25.2	21.4	8.4	13.2	152.6
ほ と ん ど な い	540	11.3	34.8	42.2	25.2	24.3	6.1	10.9	154.8
全 く な い	342	11.1	30.1	37.1	25.1	17.0	12.0	16.7	149.1

注) Q23で「全く参加したくない」、「あまり参加したくない」と答えた者が対象。

(6) 世代間交流推進のための必要条件 (Q24)

「世代間の交流を促進するために、どのようなことが必要だと思うか」についてみると、「交流機会の設定」が26.0%と最も高く、以下、「高齢者が参加しやすくするための交通機関の整備など」22.8%、「学校や老人福祉施設など公共施設の併設、開放」22.2%、「世代間交流の世話役的リーダーの存在」19.5%、「世代間交流の意義・重要性等についての広報・啓発」18.2%、「若い世代からの働きかけ」17.9%等の順となっている。なお、「わからない」は25.9%となっている。

図 24 世代間交流推進のための必要条件 (Q24)



性別にみると、「交流機会の設定」(男性30.1%、女性22.8%)、「世代間交流の世話役的リーダーの存在」(男性22.6%、女性17.1%)、「世代間交流の意義・重要性等についての広報・啓発」(男性22.5%、女性14.8%)は男性の割合が高くなっている。一方、「わからない」(男性20.9%、女性29.8%)は女性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「学校や老人福祉施設など公共施設の併設、開放」、「世代間交流の意義・重要性等についての広報・啓発」は年齢が低いほど割合が高くなっている。

健康状態別にみると、「交流機会の設定」、「学校や老人福祉施設など公共施設の併設、開放」、「世代間交流の世話役的リーダーの存在」は健康状態が良いほど割合が高くなっている。

表 24 世代間交流推進のための必要条件（Q24）

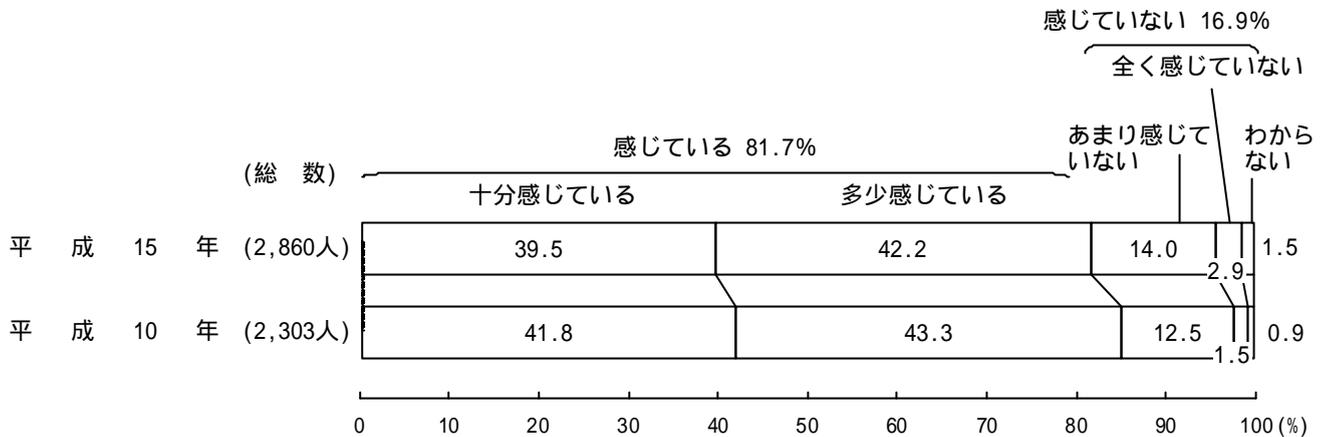
（複数回答）

	総 数	等 世 代 間 交 流 の 意 義 ・ 重 要 性 の 広 報 ・ 啓 発	交 流 機 会 の 設 定	学 校 や 老 人 福 祉 施 設 な ど 公 共 施 設 の 併 設 、 開 放	高 齢 者 が 参 加 し や す く す る た め の 交 通 機 関 の 整 備 な ど	世 代 間 交 流 の 世 話 役 的 リ ー ダ ー の 存 在	若 い 世 代 か ら の 働 き か け	若 い 世 代 の ゆ と り の 拡 大	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 5 年	2,385	15.7	27.2	20.5	26.8	23.1	19.3	9.8	0.8	22.1	165.2
平成 10 年	2,303	17.2	25.9	21.2	23.5	23.4	19.1	9.1	1.0	24.5	164.9
総 数	2,860	18.2	26.0	22.2	22.8	19.5	17.9	9.3	1.2	25.9	163.0
〔 性 〕											
男 性	1,251	22.5	30.1	23.4	21.2	22.6	17.7	9.4	0.7	20.9	168.7
女 性	1,609	14.8	22.8	21.3	24.1	17.1	18.1	9.1	1.5	29.8	158.6
〔 年 齢 〕											
60 ～ 64 歳	693	24.2	30.4	28.1	23.1	24.2	19.9	13.0	0.4	15.3	178.8
65 ～ 69 歳	692	22.0	30.5	24.9	23.0	20.7	21.0	9.8	1.0	18.5	171.2
70 ～ 74 歳	650	16.2	23.8	19.7	20.3	21.1	16.9	7.7	1.5	28.3	155.5
75 ～ 79 歳	490	12.9	21.8	18.6	24.5	14.7	14.7	8.0	2.2	36.3	153.7
80 歳 以 上	335	9.6	17.6	14.6	24.5	11.3	14.3	5.4	0.6	43.6	141.5
（ うち 85 歳 以 上 ）	101	3.0	11.9	9.9	22.8	6.9	7.9	6.9	-	54.5	123.8
〔 健 康 状 態 〕											
良 い （ 小 計 ）	1,523	22.2	29.3	24.5	23.6	22.4	20.0	10.4	1.2	18.5	172.0
良 い	802	20.8	30.3	25.6	24.4	24.2	22.7	11.5	1.2	15.8	176.6
ま あ 良 い	721	23.7	28.2	23.3	22.6	20.4	16.9	9.2	1.2	21.4	166.9
普 通	730	15.6	24.8	22.2	24.9	19.7	18.4	8.6	1.0	27.3	162.5
良 くない （ 小 計 ）	607	11.2	19.1	16.5	18.5	12.0	12.4	7.2	1.2	43.2	141.2
あ ま り 良 くない	504	11.9	20.2	17.3	19.2	13.1	13.7	7.9	1.2	40.3	144.8
良 くない	103	7.8	13.6	12.6	14.6	6.8	5.8	3.9	1.0	57.3	123.3

(7) どの程度生きがい(喜びや楽しみ)を感じているか(Q25)

「現在、どの程度生きがい(喜びや楽しみ)を感じているか」についてみると、「十分感じている」(39.5%)と「多少感じている」(42.2%)を合わせた『感じている』が81.7%と8割を超えている。一方、「あまり感じていない」(14.0%)と「全く感じていない」(2.9%)を合わせた『感じていない』が16.9%となっている。

図25 どの程度生きがい(喜びや楽しみ)を感じているか(Q25)



年齢別にみると、『感じている』は年齢が高いほど割合が低くなっているが、80歳以上でも69.6%と7割弱の人が生きがいを感じている。

都市規模別にみると、『感じていない』は「大都市」(20.3%)で割合が高く、「小都市」(13.9%)で低くなっている。

同居形態別にみると、『感じていない』は「単身世帯」で30.5%と割合が高くなっている。

健康状態別にみると、『感じている』は健康状態が良いほど割合が高くなっている。

親しい友人・仲間の有無についてみると、『感じている』は友人・仲間が多いほど割合が高く、「沢山もっている」では92.7%と9割を超えているが、「友人・仲間はもっていない」では39.8%と4割以下となっている。

表 25 どの程度生きがい(喜びや楽しみ)を感じているか (Q25)

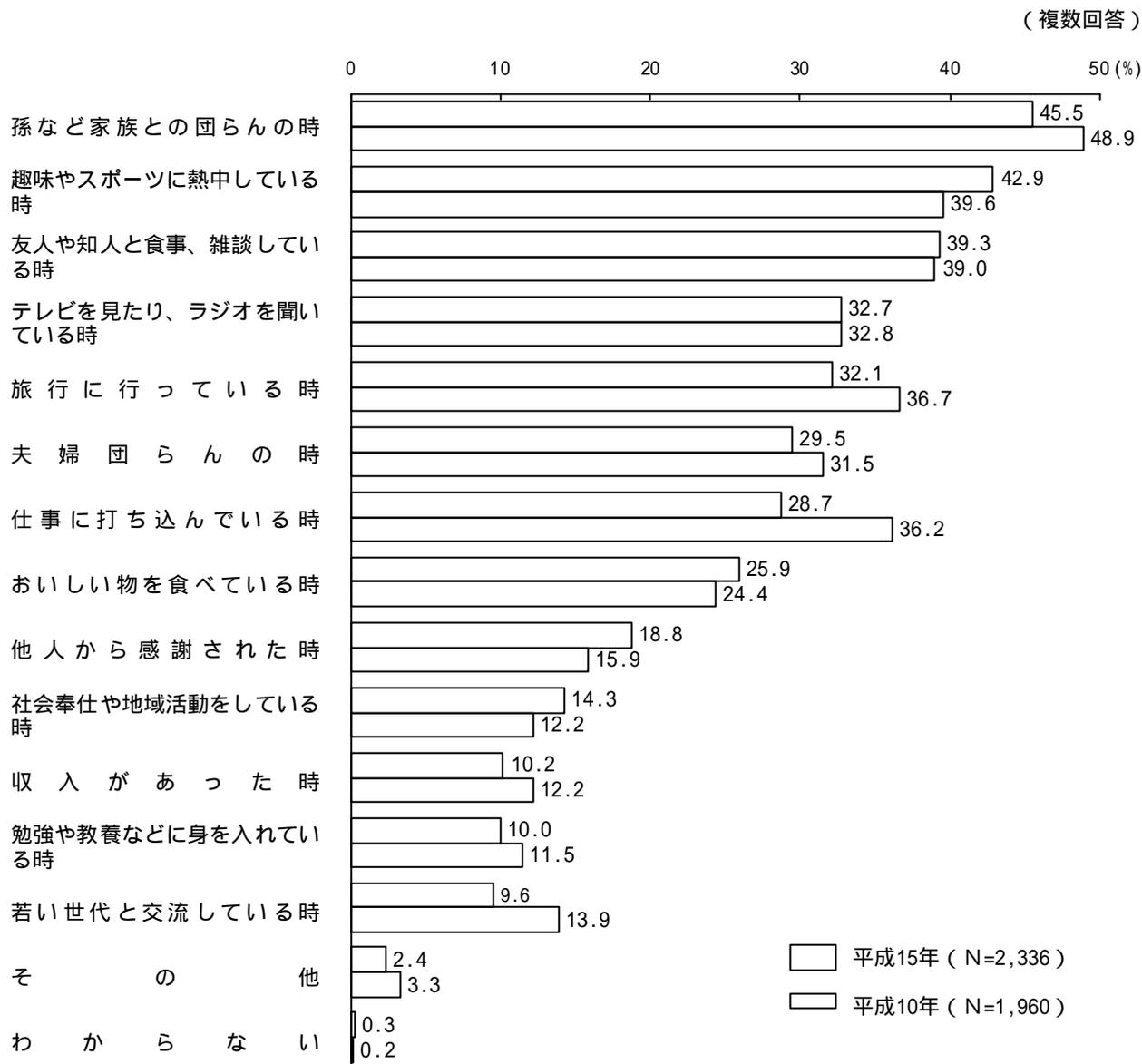
	総 数	感じている (小計)			感じていない (小計)			わ か ら な い
		十分 感じ ている	多 少 感 じて いる	感 じて いない	あ ま り 感 じて いない	全 く 感 じて いない		
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成 10 年	2,303	85.1	41.8	43.3	14.0	12.5	1.5	0.9
総数	2,860	81.7	39.5	42.2	16.9	14.0	2.9	1.5
〔性〕								
男性	1,251	80.9	40.0	40.9	17.7	14.6	3.0	1.4
女性	1,609	82.3	39.1	43.2	16.2	13.4	2.8	1.5
〔年齢〕								
60 ~ 64 歳	693	86.9	45.5	41.4	11.8	9.5	2.3	1.3
65 ~ 69 歳	692	84.0	39.2	44.8	15.5	13.0	2.5	0.6
70 ~ 74 歳	650	81.7	39.4	42.3	16.9	14.2	2.8	1.4
75 ~ 79 歳	490	79.4	38.2	41.2	18.6	15.9	2.7	2.0
80 歳以上	335	69.6	29.9	39.7	27.5	21.8	5.7	3.0
(うち 85 歳以上)	101	68.3	27.7	40.6	23.8	18.8	5.0	7.9
〔都市規模〕								
大都市	553	79.2	36.0	43.2	20.3	16.8	3.4	0.5
中都市	976	79.8	40.7	39.1	18.2	14.4	3.8	1.9
小都市	588	84.2	42.0	42.2	13.9	11.9	2.0	1.9
町村	743	84.0	38.5	45.5	14.8	12.8	2.0	1.2
〔同居形態〕								
単身世帯	338	68.0	30.2	37.9	30.5	25.1	5.3	1.5
夫婦二世帯	1,058	82.5	40.7	41.8	16.3	12.9	3.4	1.2
本人と子の世帯	644	81.1	39.3	41.8	17.7	15.5	2.2	1.2
本人と子と孫の世帯	596	86.2	41.9	44.3	11.7	9.7	2.0	2.0
その他の世帯	221	87.8	41.2	46.6	10.4	9.0	1.4	1.8
〔健康状態〕								
良い (小計)	1,523	90.7	51.5	39.2	8.6	7.4	1.2	0.7
良い	802	92.5	65.3	27.2	7.0	5.7	1.2	0.5
まあ良い	721	88.6	36.1	52.6	10.4	9.2	1.2	1.0
普通	730	83.0	31.9	51.1	15.2	13.3	1.9	1.8
良くない (小計)	607	57.5	18.5	39.0	39.5	31.3	8.2	3.0
あまり良くない	504	61.9	20.0	41.9	35.7	30.4	5.4	2.4
良くない	103	35.9	10.7	25.2	58.3	35.9	22.3	5.8
〔Q4 親しい友人・仲間の有無〕								
沢山もっている	835	92.7	62.6	30.1	6.7	6.0	0.7	0.6
普通	1,220	85.9	38.5	47.4	12.8	11.5	1.3	1.3
少しもっている	599	72.1	18.9	53.3	26.2	22.5	3.7	1.7
友人・仲間はもっていない	206	39.8	11.2	28.6	54.9	35.9	18.9	5.3

(8) 生きがい(喜びや楽しみ)を感じる時 (Q25 - S Q)

生きがい(喜びや楽しみ)を感じている人について、「生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのはどのような時か」をみると、「孫など家族との団らんの時」が45.5%と最も高く、次いで「趣味やスポーツに熱中している時」42.9%、「友人や知人と食事、雑談している時」39.3%、「テレビを見たり、ラジオを聞いている時」32.7%、「旅行に行っている時」32.1%、「夫婦団らんの時」29.5%、「仕事に打ち込んでいる時」28.7%、「おいしい物を食べている時」25.9%等の順となっている。

前回調査と比較すると、「仕事に打ち込んでいる時」が7.5ポイント減少している。

図 25 - 1 生きがい(喜びや楽しみ)を感じる時 (Q25 S Q)



性別にみると、「孫など家族との団らんの時」(男性41.7%、女性48.4%)、「友人や知人と食事、雑談している時」(男性32.0%、女性44.9%)、「テレビを見たり、ラジオを聞いている時」(男性29.3%、女性35.3%)、「旅行に行っている時」(男性28.6%、女性34.7%)、「おいしい物を食べている時」(男性17.7%、女性32.3%)は女性の割合が高く、「趣味やスポーツに熱中している時」(男性45.7%、女性40.7%)、「夫婦団らんの時」(男性35.4%、女性25.1%)、「仕事に打ち込んでいる時」(男性34.8%、女性24.0%)、「社会奉仕や地域活動をしている時」(男性18.0%、女性11.5%)は男性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「友人や知人と食事、雑談している時」、「夫婦団らんの時」、「仕事に打ち込んでいる時」、「旅行に行っている時」、「収入があった時」、「若い世代と交流している時」は年齢が低いほど割合が高くなっている。

健康状態別にみると、「趣味やスポーツに熱中している時」、「旅行に行っている時」、「仕事に打ち込んでいる時」、「社会奉仕や地域活動をしている時」は健康状態が『良い』で、「テレビを見たり、ラジオを聞いている時」は『良くない』で割合が高くなっている。

表 25 - 1 生きがい(喜びや楽しみ)を感じる時 (Q25 - SQ)

(複数回答)

	該 当 者 数	時 事 に 打 ち 込 ん で い る	入 勉 強 や 教 養 な ど に 身 を	し 趣 味 や ス ポ ー ツ に 熱 中	夫 婦 団 ら ん の 時	の 孫 な ど 家 族 と の 団 ら ん	談 友 人 や 知 人 と 食 事 、 雑	オ テ レ ビ を 見 た り 、 ラ ジ オ	し 社 会 奉 仕 や 地 域 活 動 を
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 10 年	1,960	36.2	11.5	39.6	31.5	48.9	39.0	32.8	12.2
総数	2,336	28.7	10.0	42.9	29.5	45.5	39.3	32.7	14.3
〔 性 〕									
男性	1,012	34.8	11.3	45.7	35.4	41.7	32.0	29.3	18.0
女性	1,324	24.0	9.0	40.7	25.1	48.4	44.9	35.3	11.5
〔 年 齢 〕									
60 ~ 64 歳	602	36.5	12.3	50.5	35.7	43.9	42.7	30.1	16.6
65 ~ 69 歳	581	31.8	9.0	45.3	33.4	48.2	41.7	32.0	13.1
70 ~ 74 歳	531	26.9	9.8	38.2	29.8	45.6	40.7	32.2	15.8
75 ~ 79 歳	389	22.4	10.0	38.6	24.4	42.9	34.4	36.5	15.4
80 歳 以 上	233	15.0	6.9	34.8	12.0	47.2	30.0	36.1	6.0
(うち 85 歳 以 上)	69	10.1	8.7	26.1	10.1	52.2	29.0	36.2	2.9
〔 健 康 状 態 〕									
良 い (小 計)	1,381	33.0	10.9	46.9	30.3	44.0	39.7	29.3	16.3
良 い	742	36.3	12.8	50.4	33.4	44.9	43.1	30.3	19.8
ま あ 良 い	639	29.3	8.8	42.9	26.8	42.9	35.7	28.2	12.2
普 通	606	25.4	7.6	42.1	28.7	48.5	43.1	36.1	13.0
良 く な い (小 計)	349	17.2	10.3	28.1	27.8	46.4	31.5	40.1	8.6
あ ま り 良 く な い	312	17.6	10.3	28.8	27.6	46.5	32.7	40.7	9.3
良 く な い	37	13.5	10.8	21.6	29.7	45.9	21.6	35.1	2.7

注) Q25で「十分感じている」、「多少感じている」と答えた者が対象。

表 25 - 1 生きがい(喜びや楽しみ)を感じる時 (Q25 - S Q)(続き)

(複数回答)

	旅行に行っている時	他人から感謝された時	収入があった時	おいしい物を食べている時	若い世代と交流している時	その他	わからない	計 (M.T.)
	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 10 年	36.7	15.9	12.2	24.4	13.9	3.3	0.2	358.4
総 数	32.1	18.8	10.2	25.9	9.6	2.4	0.3	342.2
[性]								
男 性	28.6	17.7	9.5	17.7	9.3	1.9	0.4	333.1
女 性	34.7	19.6	10.8	32.3	9.8	2.7	0.3	349.1
[年 齢]								
60 ~ 64 歳	37.0	20.6	15.4	27.1	12.6	1.8	0.3	383.2
65 ~ 69 歳	36.5	18.8	11.5	26.3	10.2	1.2	0.2	359.0
70 ~ 74 歳	32.8	20.2	8.5	26.4	9.4	2.8	0.4	339.4
75 ~ 79 歳	26.5	19.0	6.9	22.9	6.7	3.1	0.3	310.0
80 歳 以上	15.9	10.3	3.0	26.2	5.6	4.3	0.9	254.1
(うち 85 歳 以上)	11.6	8.7	4.3	27.5	4.3	5.8	1.4	239.1
[健 康 状 態]								
良 い (小 計)	35.5	18.7	10.7	26.8	10.7	2.3	0.4	355.5
良 い	38.0	20.2	12.9	28.6	12.5	2.6	0.4	386.3
ま あ 良 い	32.6	16.9	8.1	24.7	8.6	2.0	0.3	319.9
普 通	31.0	21.6	9.7	25.9	9.4	1.7	0.3	344.2
良 くない (小 計)	20.3	14.0	9.2	22.6	5.4	3.7	0.3	285.7
あ ま り 良 くない	20.2	13.1	8.7	21.8	5.8	3.2	0.3	286.5
良 くない	21.6	21.6	13.5	29.7	2.7	8.1	-	278.4